

水中の生き物が姿を消す。

そんな農薬が、日本中で
たくさん使われているの
を知っていますか？

あなたはその水を飲み
ますか？

子どもに飲ませますか？

静かな汚染、 ネオニコチノイド

浸透性農薬は〈いのち〉に何をもたらすのか？

監修：苅部治紀／平久美子 監督：山口勝則

ナレーター：広瀬さや（株式会社 アクロス エンタテインメント） 収録・整音：STUDIO CROSS EDGE

出演：亀田 豊／苅部治紀／平久美子／館野廣幸／長谷川浩／八田純人／星 信彦／フランシスコ・サンチェス＝パヨ

企画・協力：アクト・ビヨンド・トラスト（abt） 制作：アジア太平洋資料センター（PARC）

【映画の概要】

植物の根や葉から組織全体へと浸透移行して作物を害虫から長く守るとされる浸透性農薬《ネオニコチノイド》。1990年代以降、主流の殺虫剤として、日本国内でもさまざまな作物の栽培に用いられています。

しかし、その普及から約30年、当初想定されていなかった多くの問題が指摘されています。

水に溶けやすい性質を持つネオニコチノイドは、ひとたび使用されると、容易に河川や地下水に移行します。そして、農業その他の用途で使用が広がった結果、日本でも「もはや検出されない河川を見つけることが難しい」と言われるほどに水系汚染が進み、生態系の崩壊を加速させているのです。

さらに、近年の研究で懸念されているのが、その人体への安全性です。昆虫の神経に対して強く結合する「選択毒性」を持つことから、「ヒトには比較的安全」と言われてきましたが、ヒトを含む哺乳類の神経伝達や成長途上の神経の発達にも影響を及ぼすことが解明され始めているのです。

静かに目に見えないかたちで生態系にも人体にも忍び寄る浸透性農薬。その脅威から未来を守るために、私たちに何が問われているのか。最新の知見をもとに考えます。

「農薬が大量に使われていたのは、昔の話」という認識をアップデートしましょう！



子どもの権利「安全な食」を守ろう

2024年10月26日（土） 13:30～15:00


流山市南流山センター 講義室 定員 35名

内容：ネオニコチノイドの基本を知るショート動画 15分

DVD「静かな汚染 ネオニコチノイド」 40分

・参加費：300円

・お申込み：senceyoko@gmail.com / 090-2317-0898 / こちらから➡

主催：センス・オブ・ワンダーの会 

協力：NPO 法人流山おやこ劇場

申込みフォーム



abt

この活動は、一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの「2024年度ネオニコチノイド系農薬に関する企画」助成を受けています。